

議会報告会報告書

開 催 日 時	令和6年5月20日（月） 午後 7時00分 ～ 8時40分		
開 催 場 所	松阪公民館		
委 員 会 名	建設水道委員会		
出 席 議 員	松本一孝委員長 松岡恒雄副委員長 ①小川朋子 ②田中正浩 ③野呂一男 ④中島清晴 ⑤濱口高志		
	司会進行者	(第1部) 小川朋子 (第2部) 小川朋子	
	報 告 者	松岡恒雄	
	記 録 者	濱口高志	
参 加 人 数	第1部 2名	第2部 2名	
第2部 形 式	ワークショップ		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		
委員長の所感	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 坂口秀夫 様

令和 6 年 5 月 23 日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

建設水道委員会

委員長 松本一孝

第 1 部用

【主な質疑応答・意見等】

問 令和 6 年度の空き家対策事業費は 1654 万円だが、令和 5 年度はいくらだったのか。

答 令和 5 年度は 1619 万円。令和 6 年度は若干増えている。

問 去年予算計上した行政代執行は行ったのか。

答 予算計上後に持ち主と話し合い、持ち主が自主的に解体してくれたため、行政代執行は行わなかった。

問 空き家を放置して、崩れてから処分するより、補強した方が安いと思う。

答 個人の財産なので、一部だけ補助する制度となっている。

問 みくりや神社近くに屋根が落ちている家があるが、なんとかならないのか。

答 3 軒長屋なので、3 軒の同意が必要となるため、解体が難しい。

意見 空き家解体にクラウドファンディングは使えないか提案したい。

また、空き家対策に対して各自治体で温度差がある。先進事例を調査し、松阪市に活かしてほしい。

以上

第 2 部用

【テーマ 市街地調整区域における既存集落活性化について】

【開催形式】

ワークショップ形式

【課題・問題点・疑問点】

- ・この制度はいつから始まったのか。
→昨年 4 月から各地域に説明を開始しているが、まだ実施しているところはない。
- ・市はこの制度を進めていく気があるのか疑問。手続きが複雑で、全員合意とはハードルが高すぎる。
- ・三雲は線引き前に開発が進んだ。線引きを無くした方が良いのではないか。
→インフラ整備が必要なので、無秩序に宅地が広がるのは非効率的。
- ・この制度で人口が増えるのか疑問。

【意見等】

- ・この制度の制約をたくさん列挙するより、実施できる所はどこか示してほしい。
- ・地域を元気にする制度なので、もっと活用してほしい。
- ・この制度で、成功した事例の説明が聞きたい。
- ・農地に対して、きちんとした利用計画があれば宅地化できるよう緩和してほしい。

以上

委員長所感

○今回は、松阪公民館での開催ということで、テーマに関し参加者が未知数であった。その結果は少数であり、今後の課題として大いに残るものである。

要因は、場所・時間・テーマなど色々あるかと思われるが、今回の第2部のテーマである「市街化調整区域における地区計画制度」が、市街化調整区域という限定的な場所であり、また、その地区の方々を対象にしているのも要因の一つかと思われる。

このような中でも、第2部の意見交換では、参加者、議員ともに活発で充実した意見交換ができ、この制度の内容に対し、当事者となられる方々のリアルな意見が聞けたことは、委員会として利益となった。

松阪市には、沿岸部や山間部など地区によって異なる問題もあることから、まずはこの制度で意識を持ってもらい、今後の課題解決に向け、官民ともに協力していくことを考えていかなければならないと感じた。

議会報告会の様子

